

Cisco IAC 4.0 ネットワーク検出のトラブルシューティングガイド

概要

このトラブルシューティングガイドは Cisco IAC 4.0 ネットワーク開発問題を識別し解決する方法を記述します。

- [Cisco IAC](#)
- [Location](#)
- [ネットワーク開発 モジュールは動作していませんProcess Orchestrator 接続上の問題への IAC ラッパーサービス項目を作成できませんデバイスが検出されなかったらプロセス デイスカバリコンポーネント デイスカバリトポロジ デイスカバリ](#)

Cisco IAC のネットワーク開発はどのようなデバイスを出かけて Cisco IAC に探すために (検出する) および情報を返すためにほしい、およびそれからデバイスを登録して使用したいと思いませんか選択で構成され。Cisco IAC ネットワーク開発のための高レベル作業の流れは次の通りです:

- 1.
2.
 1. Neighbor Discovery
 2. Ping
 3. Ping
- 3.
- 4.
- 5.

Cisco IAC

Cisco IAC はネットワーク開発を通して存在するネットワーク/オブジェクトを検出できます。

Location

1. 設定ファイル `/opt/cisco/XMP_Platform/discovery/conf/iac.properties` それは Process Orchestrator と相互に作用するために資格情報が含まれていますOVAs を展開する PowerCLI スクリプトは資格情報を必要とします同じ資格情報はプラットフォーム 要素として IAC 管理 アプライアンスの登録の間に供給する必要があります
2. ログファイル `/opt/cisco/XMP_Platform/logs/iac/discovery.log` ログファイルは発見のプロセス例外が含まれていますログは回ります到達不能 デバイス
`/opt/cisco/XMP_Platform/discovery/output/unreachable.xml`検出 された デバイス
`/opt/cisco/XMP_Platform/discovery/output/devices.xml`
3. 接続パラメータを表示して下さい 「サービス ポータルに/設定されて/接続/アップデート Cloud インフラストラクチャは行きます プラットフォーム エレメント タイプとして 「Cisco IAC 管理 アプライアンス」を選んで下さい管理 アプライアンス IP アドレスを選択して下さい

- い「」/「サービス項目」を管理する行き、「Cloud プラットフォーム要素」グループを拡張して下さいサービス項目マネージャに行ってください「Cisco IAC 管理 アプライアンスに」
4. 接続パラメータをアップデートして下さい「サービス ポータルに/設定されて/接続/アップデート Cloud インフラストラクチャは行きます プラットフォーム エlement タイプとして「Cisco IAC 管理 アプライアンス」を選んで下さい管理 アプライアンス IP アドレスを選択して下さい

- :
- http://SERVER_HOST:8080/xmp-disc/disc/healthcheck
- :
- http://SERVER_HOST:8080/xmp-disc/disc/version
-
- cat /etc/appliance.version
- :
-
- cat /etc/appliance.manifest

1. ネットワーク開発 モジュールは動作していません ラッパー アプリケーションが展開されるかどうか確認して下さい ネットワーク開発 Webアプリケーションが、xmp-disc.war、\$XMP_HOME/apache-tomcat-7.0.40/webapps で順調に展開されたことを確かめて下さい。Webアプリケーション Deployment エラーがあるかどうか \$XMP_HOME/instances/instance1/logs/Startup.log を点検して下さい。Apache Tomcat デバッグ レベルを、\$XMP_HOME/conf/logConfig/xmpmain_log4j.xml チェックして下さい (修正を行った後必要、再始動 ネットワーク開発 モジュールに会うために設定を修正して下さい) :ネットワーク開発 モジュールがすることことをによって作動中であることを確認して下さい: xmp ステータスを保守して下さいそれを必要ならば開始して下さい: xmp 開始するを保守して下さい管理 アプライアンスの Tomcat サーバははずでポート 8080 をアップおよび受信しますである。ネットワーク開発 モジュールがログファイル \$XMP_HOME/instances/instance1/logs/Startup.log のことをチェックからエラーなしで開始したことを確認して下さい。
2. Process Orchestrator 接続上の問題への IAC ラッパー IAC ネットワーク開発 ラッパーはプロセス ディスカバリ結果を送信し、Process Orchestrator に送信します。サービス項目はサービス カタログでそれから作成されます。\$XMP_HOME/discovery/conf/iac.properties ファイルの設定が正しいことを確かめて下さい: Process Orchestrator ホスト名ポート名および接続プロトコル (HTTP か HTTPS によって使用されています異なって下さい) 認証種別 (基本かウィンドウ) 認証種別がウィンドウである場合認証 ドメイン Credentials Process Orchestrator マシンは管理から到達可能である必要があります。SSL 設定は SSL が管理 アプライアンスと Process Orchestrator の間で使用される場合正しい必要があります。通信の方向が異なっているので、これは管理 アプライアンス 設定へ Process Orchestrator と同じではないし、別々に設定され、確認する必要があります。管理されたアプライアンスからのメッセージを送信 するどの通信エラーでもログイン された \$XMP_HOME/instances/instance1/logs/iac/discovery.log です。
3. Process Orchestrator はサービス カタログ作成できません-項目を保守して下さい Process

Orchestrator は管理 アプライアンスによって送信される データを分析し、次にネットワークデバイスからの既存のデータは項目を保守し、サービス カタログのサービス項目を作成するか、またはアップデートします。通常 Process Orchestrator とサービス カタログ間の通信上の問題でもネットワーク開発に特定ではないです。ただし、サービス項目の作成が失敗した、によりネットワーク開発 モジュール データベースを引き起こすかもしれ、サービス カタログは同期化からなります。これを固定する最もよい方法は DB が現在耐久性がないので通信上の問題が解決されたらネットワーク開発 モジュール データベース (再始動 ネットワーク開発 モジュール) をクリーンアップすること次に完全な再発見を行います。抜けたサービス項目は作成され、物を存在 することはネットワークからの最新情報とアップデートされます。ネットワーク開発 モジュールを再起動することは可能性のあるではないです場合: ネットワークの完全な再発見を行って下さい。ブラウザの http://<management_appliance>:8080/xmp-disc/disc/resync-topo を呼出して下さい。次に Process Orchestrator とサービス カタログへのネットワーク開発 モジュール リポジトリのすべての位層幾何学リンクは送り直されます。

4. デバイスが検出されなかったら エラーに関してはプロシージャ ディスカバリ ログファイル `$XMP_HOME/instances/instance1/logs/existenceDiscovery.log` をチェックして下さい。ディレクトリ `$XMP_HOME/discovery/output` をチェックして下さい: `devices.xml` - 正常にすべて一致する資格情報および他の情報と共に検出された デバイス。 `unreachable.xml` - すべてのデバイスを検出する試み作られました失敗するリストして下さい。失敗原因 (`<filterReason>`) があるように確認して下さい。
5. プロシージャ ディスカバリ プロシージャ ディスカバリが動作する度に、一時的な設定コンフィギュレーション・ファイルは `$XMP_HOME/discovery/conf/upload` で作成されます。存在するディレクトリを確かめ、書き込み可能です。「入力パラメータを確かめるために正しく」であって下さいことを) ネットワーク開発 設定および入力引数が正しいことを確認するためにこのディレクトリのコンフィギュレーション ファイルをチェックして下さい (参照して下さい。 `$XMP_HOME/discovery/conf` の ディスカバリ コンフィギュレーション ファイルをチェックして下さい。 テンプレートファイルは IAC 出典 リポジトリで物を一致する必要があります。 Mac または Linux の `snmpwalk` ユーティリティが自動化された ディスカバリを実行する前に SNMP 資格情報の有効性をチェックするのに使用することができます。 e.g. SNMP v2c: `snmpwalk -v 3 -l authPriv -u snmpadmin -MD5 - $PASSWORD -x AES128 -X $PASSWORD 10.10.10.10 1.3.6.1.2.1.1.5` e.g. SNMP v3: `snmpwalk -v 3 -l authPriv -u Admin -MD5 - $PASSWORD -x DES -X $PASSWORD 10.10.10.10 1.3.6.1.2.1.1.5` Neighbor Discovery に基づくネットワーク開発は検出したいすべてのデバイスで有効になるべき CDP か LLDP を必要とします他ではシード デバイスだけ検出されます。 Ping スweep ディスカバリは ICMP を必要とします: ICMP が有効になり、デバイスが ping 可能であることを確かめて下さい。管理 アプライアンスの IAC ユーザは `$XMP_HOME/discovery/bin` の `fping` ユーティリティを実行する権限があることを確かめて下さい。
6. コンポーネント ディスカバリ: インベントリ情報追加なら (デバイスの種類、シリーズ、等) は検出された デバイスから引き出すことができません: ターゲットデバイス型のためのデバイス パッケージがインストールされていることを確かめて下さい。 インストール済み パッケージのリストについては `$XMP_HOME/instances/instance1/logs/devicePackageLoader.log` を参照して下さい。エラーがあるかどうか `$XMP_HOME/instances/instance1/logs/inventory.log` を点検して下さい。 `$XMP_HOME/conf/mdfdata.xml` が各デバイスの種類のためのエントリが含まれていることを確かめて下さい。デバイスが SSH によってアクセス可能である、SNMP v2c か v3 確認し、および資格情報によって正しくことをであって下さい。デバイスが検出されたが、コンポーネントはない検出しましたことはある特定の場正常であることを留意して下さい。こ

これは通常デバイスがまだサポートされていないことを意味します、すなわちデバイスパッケージはデバイスの種類のために利用できません/インストールされて。それはまたデバイスが部分的に到達可能であることを意味しますかもしれないです。INFO ログが有効になれば (デフォルト 設定)、デバイス目録は正常に読まれ。追加インベントリ情報が見つけることができる場合次の行は \$XMP_HOME/instances/instance1/logs/iac/discovery.log でプリントアウトする必要があります:e.g. [INFO] [XMPIceEventListener]デバイス 2010 のために集められるコンポーネント

7. トポロジ ディスカバリ 検出されるべき位層幾何学リンクのために終端地点 デバイスは両方とも検出し目録は正常に問い合わせられたにちがいありません。CDP か LLDP がデバイスで有効になる、および相手についての情報はたらいっています SNMP によってことを確かめて下さい。1つのよくある問題は、「show cdp 相手」修正情報を示すかもしれません SNMP が同期化からによってかもしれないことです。